



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

4月の低温により、南部方面中心に新梢の枯死被害があります。被害がある園地は、樹全体で着果量を確保するように作業を進めてください。病虫害の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

第3回 定期散布

病虫害防除

◎6月上中旬の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100ℓあたり	散布日	6月	日
	展着剤	10mℓ	散布量		ℓ
	キノドー顆粒水和剤	100g	収穫14日前、5回以内		
	スミチオン水和剤 40	125g	収穫30日前、3回以内		
対象病虫害	落葉病、炭疽病、うどんこ病 フジコナカイガラムシ、オオワタコナカイガラムシ、カキノヘタムシガ ドウガネブイブイ、(コガネムシ類)、カメムシ類、イラガ類				
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。				
注意事項	① スミチオン水和剤 40 の使用回数はガットサイド S と合わせて3回までです。カキノキマダラメイガ・ヒメコスカシバ対策で散布した場合はご注意ください。 ② 他品目に飛散しないように注意してください。 ③ 弱樹勢樹（葉が小さい・色が薄い等）が見られる場合は担当技術員までご相談ください				

次頁もご覧ください。

第4回 定期散布

◎6月下旬の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100 ㍓あたり	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>散布日</td> <td>6月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>散布量</td> <td></td> <td>㍓</td> </tr> </table>	散布日	6月	日	散布量		㍓
	散布日	6月		日					
	散布量			㍓					
	展着剤	10m㍓							
オーソサイド水和剤 80	100g	収穫7日前、5回以内							
モスピラン顆粒水溶剤	25g	収穫前日、3回以内							
対象病害虫	落葉病、炭疽病、すす点病 アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノハタムシガ、カメムシ類								
散布量	10a当り 500㍓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。								
注意事項	① <u>前年、落葉病が多発した園地は、今回の防除を必ず実施してください。</u> ② オーソサイド水和剤80に代えて、スコア顆粒水和剤3000倍(前日、3回)でもよい								

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

次回配布予定：6/17
内 容：7月散布